

一般質問

問 農業の基本構想はあるのか
答 総合計画の中に位置付け

渡辺則夫議員
今、林業には森林整備計画があり、今議会に提出されている高齢者には高齢者福祉計画があるように本町の農業には基本構想、基本計画はあるのか。大豊での産業を考えると林業よりもむしろ高冷地という立地条件を活かせば専業農家としての定住の可能性が高いのではないかと、その基本的な考え方を内外に示し、本町の定住人口を増やしていくことは大事なことでないか。

一般質問

問 100年の森づくり事業は町民に何をもらすのか
答 林産業の再生を目指し町を元気にする

岩崎憲郎町長
農業に対する計画は、地域指定を受けた一定の計画もあるが、基本的には大豊町総合計画（ゆとりすとカントリーおおとよ）に位置づけている。本町の場合、農家・林家の区別はなく農林家という視点で今取り組んでいる。

渡辺則夫議員

100年の森づくり事業の名のもと、様々な林業関係の企業誘致や投資が行なわれているがこれは町民にどんなメリットをもたらすのか。これまでおとよ製材の雇用は60人あると言っていたが、町民は16人だけで他は町外から来ている。このことは雇用の機会を創っても



大豊町総合計画



小学4年生を対象とした間伐体験

一般質問

問 高齢者のための住宅は必要ではないのか
答 住み慣れたところで暮らすことができるサポートをする

渡辺則夫議員
町内には高齢者だけで暮らしている世帯も多い。冬暖かく過ごさせて食事もできる高齢者の住宅が必要ではないのか。今後介護保険の要介護2以下の人たちは特老には入れなくなり、収入の少ない高齢者は行き場を失う恐れもある。安い料金で利用できる住宅は本町の高齢者に今一番必要なことではないのか。

岩崎憲郎町長

住み慣れたところで暮らすことをサポートしていくということが必要だと考えている。介護・医療を必要とした場合については、介護・医療を届けることができる対応も合わせて必要である。基本的には住み慣れたところで暮らすということが多くなるお年寄りの皆さんも希望されているので、そのことをしっかりとサポートしていくということが基本である。

一般質問

問 町道の災害復旧の進捗状況は
答 順次発注する計画である

西村正尚議員
昨年の8月豪雨で道路や農地、山地等大きな被害を受け、中でも怒田、大平地区では今でも避難を強いられている方もいる。広い町内には500kmを

超える町道等があるが災害復旧の進捗状況は。

岩崎憲郎町長

災害としての工事件数は65件、その内3月中に43件の発注予定であり4

一般質問

問 観光道路の整備を
答 修繕等で対応

西村正尚議員
観光道路梶ヶ森線は、山頂部には県立自然公園があり、4月から11月頃までキャンプ場や山荘梶ヶ森等の施設利用者が多くなる。初めて来られ

る人は特に看板も標識も少ないという指摘もある。また、昨年の豪雨から路面損傷、加えて崩土等により幅員が狭くなっている箇所も早急な対応を。

岩崎憲郎町長

観光にとって重要な路線であると認識している。新年度において点検、維持修繕で対応する。

一般質問

問 町道谷相線の整備を
答 重要な路線だと認識しており検討する

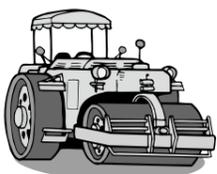
西村正尚議員
町道谷相線は、カシケ谷で路面崩壊のため、平成21年から通行止めとなっていたが、国の直轄事業により復旧工事が完成し、6年ぶりに通行ができるようになった。しかし、大豊側終点より手前3kmは未舗装であったり整備しても降雨のたびに元の惨状である。この沿線には大量の山林資源、非常時には香美市側にも通じる道でもあるので早急な整備を。

岩崎憲郎町長

未舗装部分もまだあり、重要な路線だと認識しており検討する。



完成したカシケ谷付近（八畝）



一般質問

問 町道等の危険箇所の対応は
答 修繕・補修に取り組んでいる

藤丸高德議員
林道大杉大田口線で、路肩が下がり盛土補修を繰り返して施工したため、ガードレールが下がり危険な箇所がある。このような路線は町内各所にあるのではないかと。通行の安全を重視し早急な修繕等の対応を。

岩崎憲郎町長

町内500kmを超える道路を管理する中で順次、修繕・補修を行い安全で安心して通行できるように取り組む。

藤丸高德議員

町道、林道、農道は、町において維持修繕等が行われているが私道については町の支援がない。昨年の豪雨に伴い至るところで災害が発生している。支援等の何らかの対策が必要では。

岩崎憲郎町長

私道については、補助金等で対応している。



林道大杉大田口線補修箇所